

事業名：地域防犯推進支援事業

市民生活課 交通防犯係

政策	04 安全で快適な都市生活の充実								
施策	01 安全な暮らしの確保								
基本事業	02 防犯活動の推進								
開始年度	昭和61年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	対象	会計区分	一般会計	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
防犯活動推進団体、犯罪被害者	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心なまちづくり懇談会を通じ、自主防犯団体へ情報提供を行う。 ・防犯活動を推進する団体に対して事業費の一部を補助する（江別防犯協会） ・犯罪被害者支援のための講習会開催、カウンセラー斡旋等を行う。 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市民の自主的な防犯活動を市が支援することで、市民協働による安全で安心して暮らせるまちづくりに寄与する。	

指標・事業費の推移						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	補助金交付団体数	団体	1	1	1	1
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	359	359	359	359
活動指標2						
成果指標1	地域パトロールを実施している自治会数	自治会	83	85	78	83
成果指標2						
事業費(A)		千円	415	439	410	470
正職員人件費(B)		千円	1,605	1,603	1,563	1,565
総事業費(A+B)		千円	2,020	2,042	1,973	2,035

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・江別市犯罪及び交通事故のない安全で安心なまちづくり条例に基づき、自主防犯活動を行っている団体等を対象に活動にかかる情報提供のための講演会を行った。 ・江別防犯協会の活動に要する事業費の一部を補助した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般補助・交付金359千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
市内の犯罪発生件数は平成21年以降減少傾向が続いている。 自主防犯パトロールを行っている自治会や防犯協会の関連団体である江別地区地域安全活動推進員（江別警察署所管）の数が減少する一方で、自主防犯団体の数は増加。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
江別防犯協会への補助金が、同協会の各種啓発事業の実施に使われることにより、市民の防犯意識が高まることが期待される。 また、自主防犯団体への情報提供を行い、団体活動を支援することは安全で安心なまちづくりに貢献するため妥当である。	
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
江別防犯協会に補助金を交付することにより事業が展開され、市民の防犯に対する意識が高まり、安全で快適な生活を送ることができる。	
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
市内の犯罪発生件数は減少傾向にある。江別防犯協会への補助による事業展開や自主防犯団体の防犯パトロール等の活動が犯罪発生を抑止に成果を上げている。	
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
江別防犯協会及び構成団体の積極的な啓発事業等の実施により、市民の防犯に対する意識の高まりが期待できる。	
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠
江別防犯協会への補助金の削減については、同協会及び構成団体の活動の縮小につながる可能性があるため難しい。	